

【9月の気象】

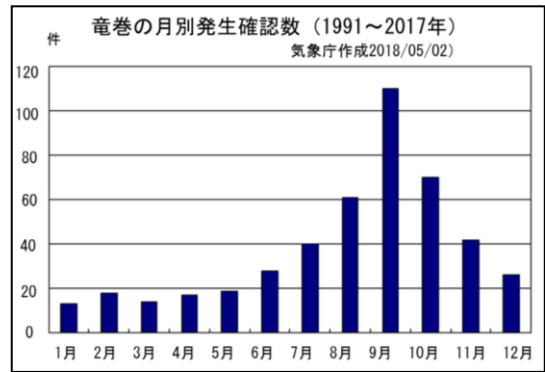
9月は、8月、7月に続いて気温が高い時期です。農作物の管理や熱中症に注意が必要です。気象庁ウェブサイトでは、熱中症の危険性が極めて高い気象状況の予想を熱中症警戒アラートとして提供しています。熱中症への健康管理にご利用ください。

熱中症警戒アラートのHPはこちら → <https://www.jma.go.jp/bosai/information/heat.html>

また、9月は竜巻が年間を通して最も発生しやすい時期でもあります（第1図）。竜巻発生時の気象条件は、前線、寒気や暖気の移流等による場合が全体の約6割を占め、次いで低気圧や台風・熱帯低気圧による場合が続きます。

愛媛県でも竜巻は発生し、1989年9月19日に南予で竜巻による被害が発生しています。この事例では、秋雨前線と台風第22号が気象要因となっています。

気象庁は、竜巻などの激しい突風を予想した場合、「竜巻」を明記した雷注意報を発表します。そして、今まさに発生しやすい気象状況になった場合に「竜巻注意情報」を発表し、「竜巻発生確度ナウキャスト」により、竜巻などの激しい突風が発生しやすい地域の詳細な分布と1時間先までの予報を気象庁HPで提供しています。



第1図 竜巻の月別発生確認数 (1991～2017年)
竜巻および竜巻またはダウンバーストであるうち、水上で発生し、その後上陸しなかった事例（いわゆる「海上竜巻」）は除いて集計しています。

雨雲の動き・雷活動度・竜巻発生確度のHPはこちら → <https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/>

【気象用語】「天気分布予報」とは

日本全国を5km四方のメッシュに分け、そのそれぞれについて以下の要素の明日24時までの予報を掲載しています。色別で表示しているため、全国または各地域の天気、気温、降水量、降雪量の分布と変化傾向がひと目でわかります。毎日5時、11時、17時に発表します。

天気分布予報のHPはこちら → <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kurashi/bunpu.html>

天気：3時間ごとのメッシュ内の代表的な天気を、「晴」「曇」「雨」「雨または雪」「雪」のどれかで表現します。

気温：3時間ごとのメッシュ内の平均気温を1℃単位で予報します。気象庁ホームページでは、5℃毎に色分けして表示しています。

降水量：メッシュ内の平均3時間降水量を「降水なし」「1～4mm」「5～9mm」「10～14mm」「15～19mm」「20mm以上」の6段階で表現します。

降雪量：メッシュ内の平均3時間降雪量を「降雪量なし」「1～2cm」「3～5cm」「6cm以上」の4段階で表現します。（12月～3月のみ）

気象庁ホームページに掲載している天気分布予報の例

